



春の訪れ 八木梅林公園の梅の花がつぼみをつけました

八木梅林公園の紹介

高瀬堰の最寄り駅は梅林(ばいりん)駅です。地名の由来は、かつて太田川の河原に広さ一万坪、梅樹千本の「梅林米溪園」があったためです。江戸時代より広島城下から見物人が多く訪れていたそうです。

しかし、昭和20年洪水により、多くの梅の木が流れたため閉鎖されましたが、現在は「八木梅林公園」として一部が復活しています。

ちなみに、高瀬堰が完成する少し前の昭和44年までは、ちょうど梅林公園の隣を流れる第二古川周辺も太田川の主流でした。(別添参照)



例年だと2月20日頃に5分咲きになり、3月上旬に満開を迎えるようです。



春の訪れ 梅の花の季節となりました。

八木梅林公園・八木第1公園の紹介

八木梅林公園には、小さなお子様も遊べる遊具やグラウンド、トイレも整備されています。

また、高瀬堰の近くで梅が見られる箇所として、八木第1公園もあります。こちらは、こじんまりしていますが、こちらにもグラウンドやトイレが整備されています。梅の木は、20本程度ですが、たくさんの種類の梅の木が見られます。

また、梅林公園よりちょっとだけ、花が咲くのが速そうです。2月上旬でも5分咲きの梅がみられ、とてもきれいに咲いていました。個人的に、こちらもお勧めです。



国土地理院地図より

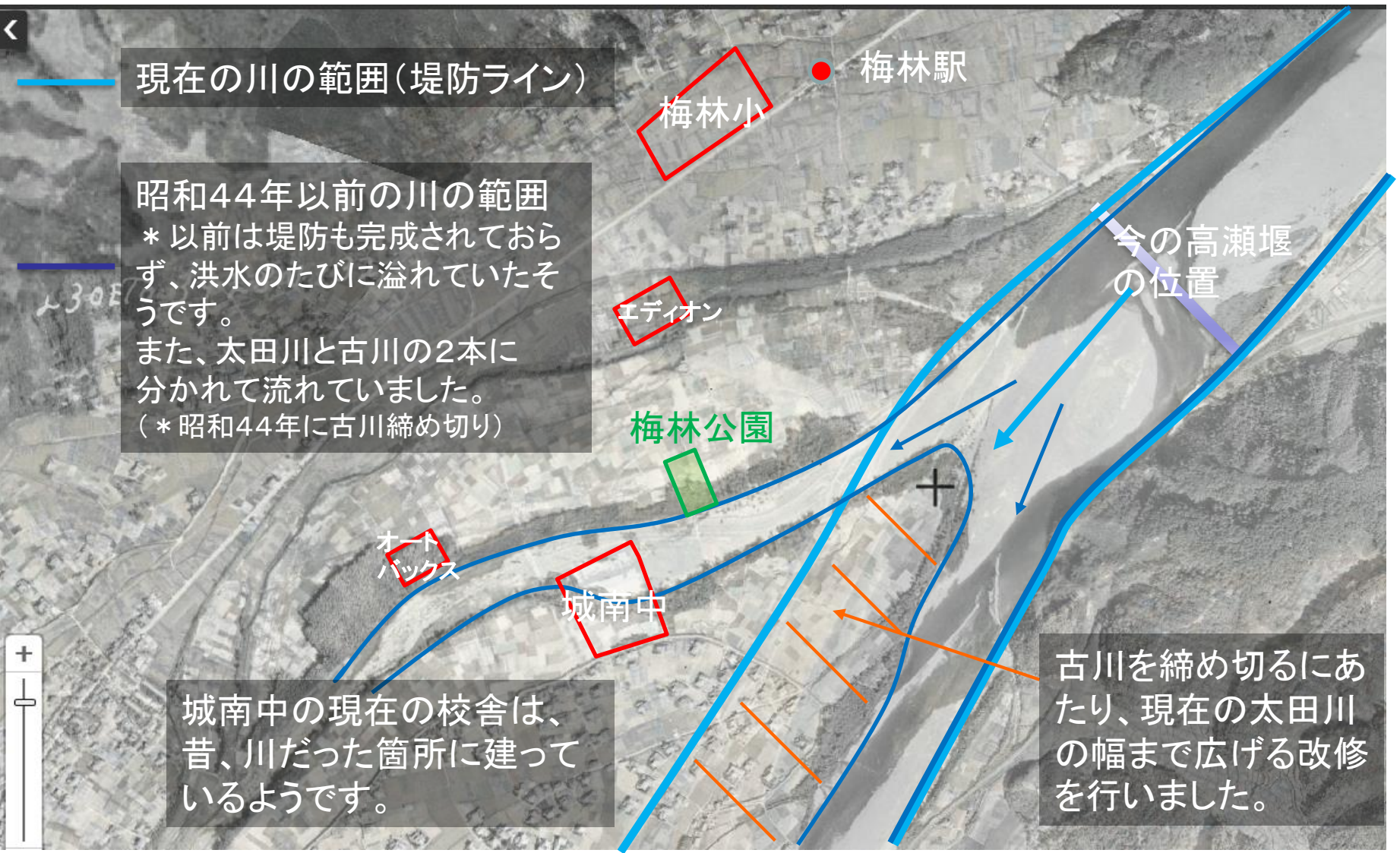


八木第1公園の梅



梅林公園の遊具

昔の太田川と古川



現在の川の範囲(堤防ライン)

昭和44年以前の川の範囲
* 以前は堤防も完成されておらず、洪水のたびに溢れていたそうです。
また、太田川と古川の2本に分かれて流れていました。
(* 昭和44年に古川締め切り)

城南中の現在の校舎は、昔、川だった箇所に建っているようです。

古川を締め切るにあたり、現在の太田川の幅まで広げる改修を行いました。

国土地理院webより。1950年頃の写真に、現在の写真を薄く(透明化)して重ねた写真
* インターネット上で誰でも無料で作業できます。とても面白いです。